

# 藤里町橋梁長寿命化修繕計画



藤里町では、橋長 2m 以上の橋梁に対して、橋梁点検を終えています。今後定期的な点検を継続して行い、橋梁の健全性を随時把握するとともに、その点検結果を反映させ、点検結果から橋梁の修繕を必要とする優先度を把握し、損傷が小さい段階から小まめに修繕を行います。これはそれら一連の取り組み方をまとめた修繕計画の概要書です。

この計画に基づき、適切に橋梁の点検と修繕を行うことにより、橋梁の長寿命化と維持管理費の縮減を図ります。

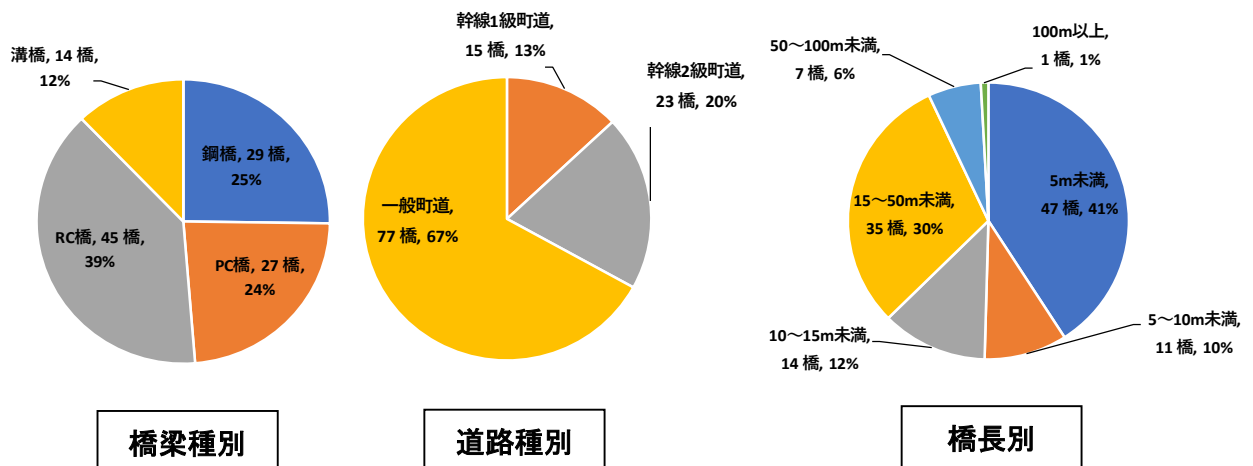
令和2年3月

(令和7年12月一部修正)

藤里町 生活環境課

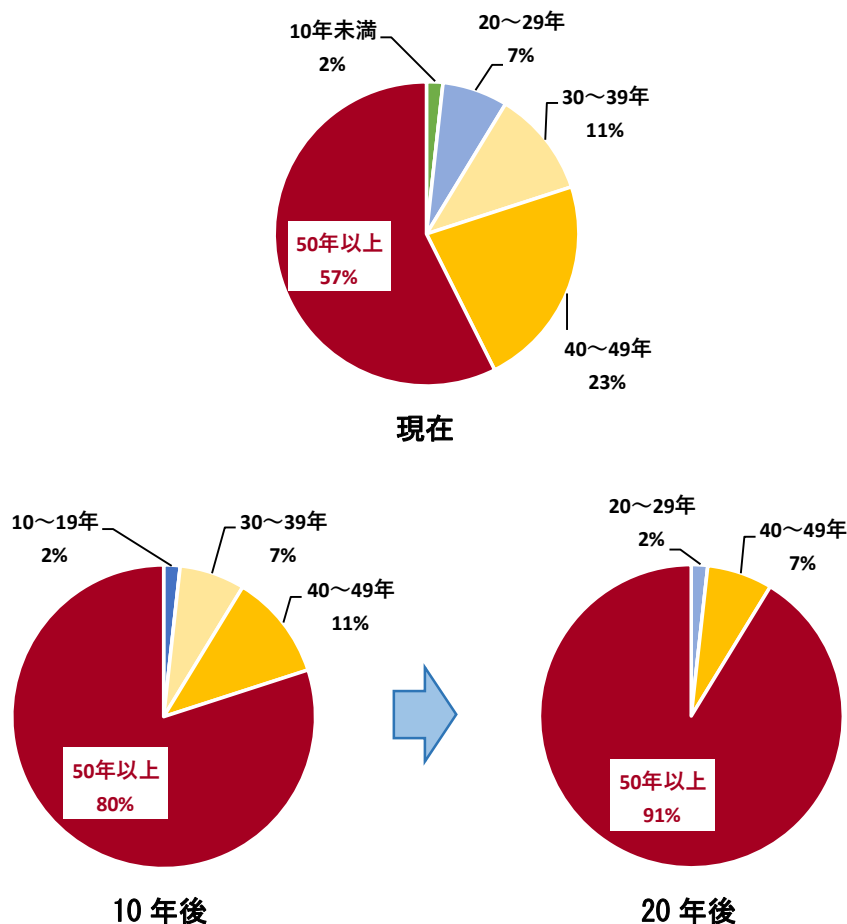
## 藤里町の橋梁の現状

藤里町の管理する橋長 2m以上の橋梁 115 橋(橋長 1.9m の 2 橋を含む)における橋梁種別の割合は、コンクリート橋(PC 橋・RC 橋・溝橋)が 75%、鋼橋が 25%となっています。



現在、老朽化の目安と言われる建設後 50 年を過ぎた橋梁の数は、全体の 57%程度ですが、このまま推移すれば 10 年後には全体の 80%、20 年後には全体の 91%を占めることになり、加速化する橋梁の老朽化が目に見えてわかります。

同建設年の橋梁について、気象条件や使用状況などによって劣化の度合いが異なるため、点検による橋梁の健康状態の把握が必要となります。



## 藤里町の橋梁の健康状態を把握

通常点検、定期点検、橋梁点検、異常時点検を実施し、橋梁の健康状態を把握します。  
なお、損傷の発生状況や重要度に応じて、点検の頻度や体系の見直しを行います。

### 各種の点検

#### 【通常点検】

安全な交通の確保と第三者被害の未然防止を目的として、損傷を早期発見するために、日常巡回(道路パトロール)の際に実施する遠望目視点検

#### 【定期点検】

橋梁点検結果からの変化を確認するために定期的(1回/1年)に実施する近接、遠望目視点検

#### 【橋梁点検】

橋梁の保全を図るために、定期的(1回/5年)に点検機械、器具等(点検車、梯子、点検ハンマー等)を用いて実施する近接、遠望目視点検

#### 【異常時点検】

地震、台風、集中豪雨等の自然災害が発生する恐れがある場合や発生した場合に、橋梁の安全性を確認するために実施する遠望目視点検

橋梁点検車を使用した【橋梁点検】実施の様子



【※他自治体での事例】

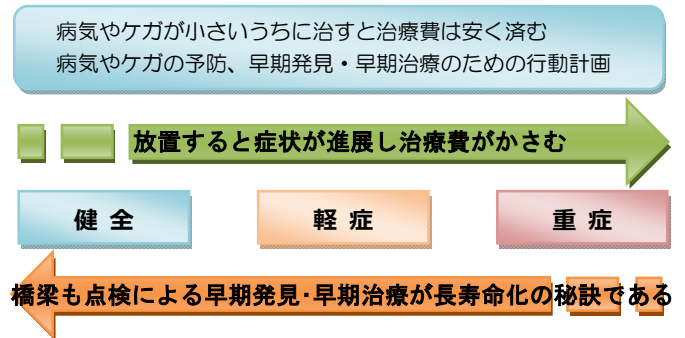
## 橋梁を長持ちさせるために

### 長寿命化への取組み

藤里町民の資産である橋梁を長く大切に保全し、安全で安心な道路サービスを提供するとともに、維持管理費の縮減を図ることを目的としています。

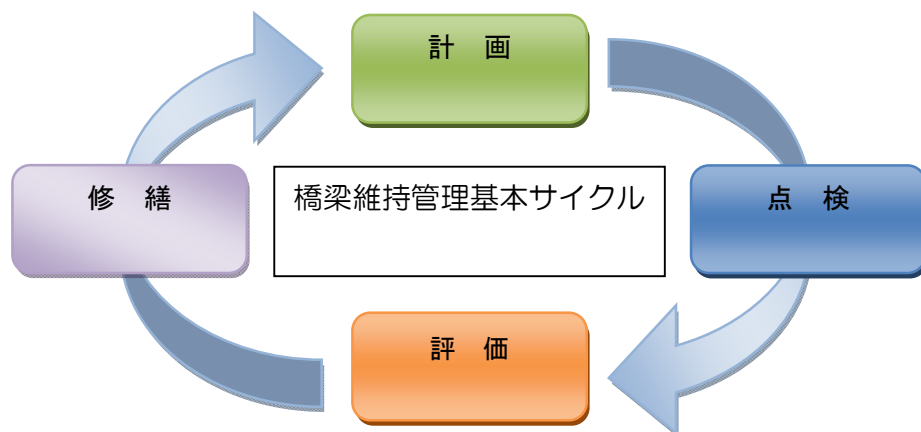
致命的な損傷を受けてから対策する「対症的修繕」（事後保全）から、損傷を受ける前に適切な対策を実施する「予防的修繕」（予防保全）に転換することにより、少ない対策費用で橋梁の長寿命化を図ります。

また、架け替え等が及ぼす道路交通への社会的・経済的損失を軽減するなど、道路ネットワークの安全性・信頼性を向上させる取組みです。



### 橋梁の維持管理について

計画、点検、評価、修繕のサイクルで、より良い橋梁の管理を目指します。



※計画は点検で把握する橋梁の状態や社会情勢の変化等に応じて、弾力的に変更される場合があります。

## 予防的修繕について

予防的修繕の際には橋の長寿命化に効果のある、橋面防水対策・鋼橋防食機能の維持・コンクリートの劣化対策に取り組みます。

### 橋面防水対策

橋面水の橋梁内部への侵入防止対策は、橋の長寿命化に大きな効果があることから、コンクリート床版の修繕の際には橋面防水対策を行います。

(具体的対策：橋面防水工)



「橋面防水対策を施していない橋の床版(橋下面)状況」



「橋面防水層散布状況」  
【他自治体での事例】

### 鋼橋防食機能の維持

鋼橋劣化の主たる原因の1つである腐食を防ぐため、塗り替えを行い、防食機能を維持します。

旧塗膜の浮きや剥がれを除去(ケレン)して塗装を行い、腐食への耐久性を高めます。

(具体的対策：ケレン、塗り替え工)



「防食機能が劣化した状態」



「塗り替え工上塗作業状況」  
【他自治体での事例】

### コンクリートの劣化対策

コンクリートは、主に外部から侵入する水分や塩分によって劣化が進むことから、コンクリート部材の修繕では、ひび割れをふさぐことでそれらの侵入を防止し、損傷の拡大を防ぎます。

(具体的対策：ひび割れ注入工)



「ひび割れ注入工作業状況」  
【他自治体での事例】

## 長寿命化修繕計画に向けて

### 橋梁点検結果

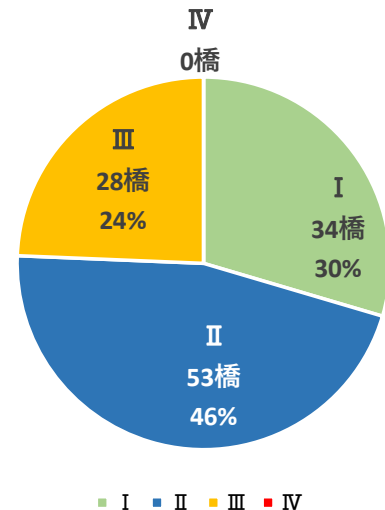
平成 30 年度までに、橋長 2m 以上の 115 橋（橋長 1.9m の 2 橋を含む）の橋梁点検を完了しました。

藤里町では、この点検結果を基にして、健全度の高いものから 4 段階に区分しています。その内、健全度区分ⅠとⅡに評価された橋の合計は全体の 76%あり、健全度区分Ⅲと評価された橋は全体の 24%で、健全度の高い橋が比較的に多いことがわかりました。

※健全度＝橋梁の健康状態

区分		状態
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

橋梁健全度



### 橋梁の重要度の考え方

各橋梁の架橋条件（緊急輸送道路、道路種別等）から重要度を設定しグルーピングを行い、重要度に応じた維持管理区分を設定します。

重要度	グループ	対象橋梁条件	維持管理区分	内容
高 ↑ ↓ 低	1	緊急輸送道路に指定されている橋梁	予防保全型（レベルH）	重要度が高い橋梁に対し、損傷が顕在化する前、または軽微な段階で耐久性向上に寄与する対策を実施
	2	幹線1級町道に指定されている橋梁（※グループ7を除く）	予防保全型（レベルM）	重要度が比較的高い橋梁に対し、損傷が軽微な段階で延命化に有効な対策を実施
	3	代替路の無い橋長15m以上の橋梁	予防保全型（レベルL）	重要度がやや高い橋梁に対し、損傷が軽微な段階で延命化に有効な対策を実施
	4	上記以外の橋長15m以上の橋梁		
	5	上記以外の代替路の無い橋梁（※グループ7を除く）		
	6	上記以外の橋長5m以上15m未満の橋梁	事後保全型	損傷が進行後、適切な対策を実施
	7	町指定路線（橋梁）（※出戸高石川内沢線）		
低	8	上記以外の橋長5m未満の小規模橋梁		
	9	今後10年以内に撤去が予定されている橋梁	撤去予定	今後10年以内に撤去が予定されている橋梁
	A	米代西部森林管理署管理の橋梁	予防保全型	損傷が軽微な段階で延命化に有効な対策を実施

※米代西部森林管理署管理の橋梁 11 橋は併用林道のため、町道と分けて維持管理区分を設定します

## 長寿命化修繕計画の効果【試算】

点検結果を基に、以下にあげる2つのケースにおいて、今後50年間の修繕費をシミュレーションしました。

- 対症療法的修繕（事後保全）
  - 修繕の必要性が顕著化した後に修繕を実施した場合
- 長寿命化修繕計画に基づく修繕（予防保全・事後保全の組み合わせ）
  - 予算の平準化を図りながら計画的に予防的修繕と対症療法的修繕を組み合わせ実施した場合

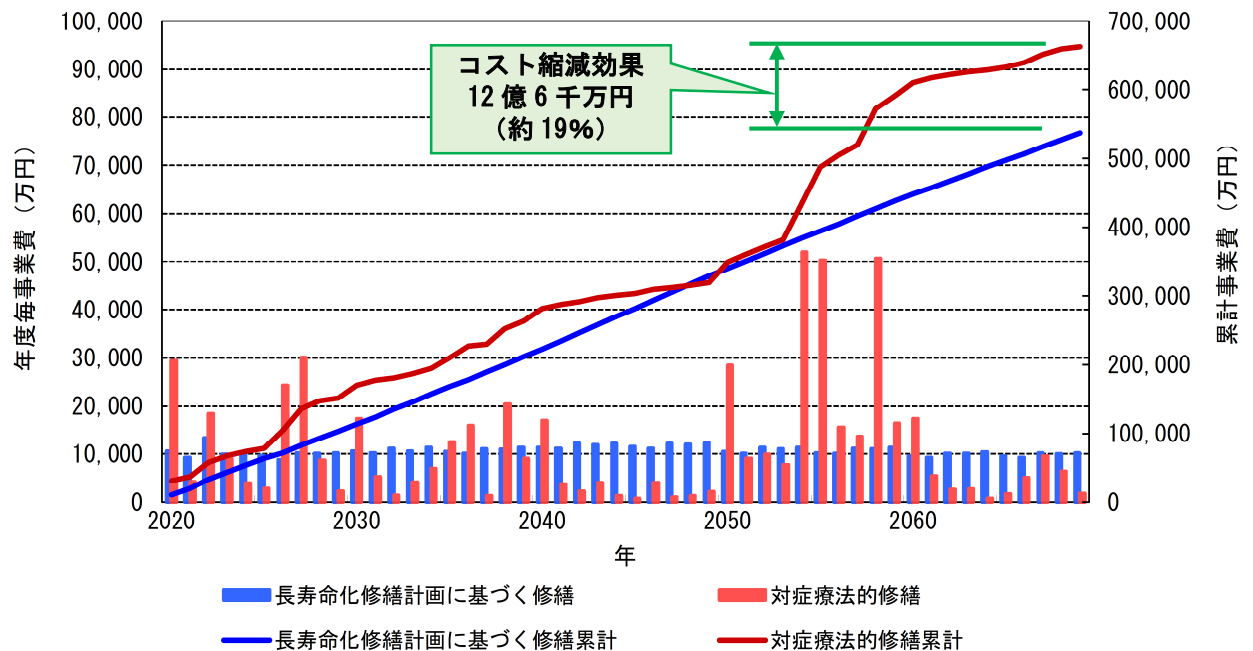
### 【シミュレーション結果】

- 対症療法的修繕（事後保全）：66億3千万円
- 長寿命化修繕計画に基づく修繕（予防保全・事後保全の組み合わせ）：53億7千万円

予算の平準化を図りながら計画的に予防保全と事後保全を組み合わせ修繕していくことにより、事後保全のみの場合よりも大規模な修繕や架替えを回避できるため、今回対象とした115橋について今後50年間で12億6千万円（約19%）のコスト削減が見込めます。

また、予算の制約上、重要度の高いものから優先して順次修繕を実施していきます。

### 累計事業費の比較



※事業費：工事費＋点検費

※修繕費は今後の詳細調査や設計結果により変更になる場合があります

## 計画全体の基本方針

### 基本的な方針

本計画における損傷、劣化予測に基づき、長寿命化修繕計画に基づく修繕（予防保全・事後保全の組み合わせ）及び計画的な架け替えを行うことにより、修繕及び架け替えに要するコスト縮減を図ります。また「集約化・撤去」「新技術等の活用」「費用縮減」など、事業コストや効率化に資するものはないかの検討を行います。

### 集約化・撤去

橋梁の維持管理コスト縮減を図るため、迂回路が存在し集約が可能な橋梁や利用状況等から、集約化・撤去可能かを検討します。

具体的な数値目標： 令和8年度までに管理する115橋のうち、4橋程度について、集約化・撤去が可能かを検討。

### 新技術等の活用

点検の効率化や修繕等の措置の省力化や費用縮減を図るため、ドローン及び新材料・新工法の検討・活用を目指します。

令和8年度までに管理する115橋のうち、約1割の橋梁  
具体的な数値目標： について、新技術の活用が可能かを検討し、効率化や費用縮減が見込まれる場合は活用。

### 費用縮減

「集約化・撤去」「新技術等の活用」を検討し、取り組みを実施することで、費用縮減を図ります。その他、職員による直営点検の数を増やすことで、費用縮減を図ります。

令和8年度までに集約化・撤去の取り組みを実施することで、費用を約40百万円程度縮減することを目指す。  
橋長が短く、構造が単純な46橋を対象に直営点検可能かを検討し、点検可能と判断した橋梁について直営点検を実施。  
また、1巡目の定期点検で、橋梁点検車及び高所作業車を使用した橋梁(管理橋梁の約3割)については、新技術の活用を重点的に検討し実施することで、費用を約1百万円程度縮減することを目標とする。

## 長寿命化修繕計画

### 対象橋梁

長寿命化修繕計画の対象橋梁は、藤里町が管理する橋長2m以上の115橋（橋長1.9mの2橋を含む）とします。

### 計画期間

長寿命化修繕計画の計画期間は、令和2年度～令和11年度の10年間とします。

### 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位は、「重要性」の観点から維持管理区分に基づく重要度と「安全性の確保」の観点から点検によって健全度が低いと判断された橋梁を優先します。

### 対策内容と実施時期

長寿命化修繕計画における各橋梁の対策内容と実施時期については、「藤里町橋梁長寿命化修繕計画事業予定」に示します。

## まとめ

損傷の早期発見、早期修繕を行うことで、今後加速化する老朽化に対して、「橋の延命化」「損傷による事故の減少」「修繕費のコスト縮減」につながると考えられます。

そのためには、点検の実施は不可欠であり、継続して実施していくことで、限られた予算の中で、効率的な現状の把握と修繕が可能となり、安全で信頼のある道路ネットワークを維持できると確信しています。

### 藤里町 生活環境課

〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字藤琴 8 番地

TEL : 0185-79-2115 FAX : 0185-79-2116

ホームページ <https://www.town.fujisato.akita.jp>



藤里町橋梁長寿命化修繕計画 事業予定（10年間）

※対策内容・時期・対策費用については、詳細調査・設計の結果、相違が生じる可能性があります。

NO.	橋梁名	道路種別	路線名	橋長 (m)	幅員 (m)	橋種	架設 年次	最新 点検 年次	判定 区分	次回 点検 年次	対策内容	実施時期	対策費用 (百万円)
1	長場内橋	その他	巻端家・長場内線	101.1	3.6	鋼橋	1963	2018	Ⅲ	—	撤去済	2019 ～ 2020	—
2	米田橋	2級	米田・熊の岱線	83.7	5.3	鋼橋	1963	2020	Ⅲ	2025	撤去	2026 ～ 2027	160.0
3	長瀬橋	2級	長瀬・室岱線	66.0	4.2	PC橋	1965	2020	I	2025	経過観察	2030年以降	—
4	一の渡橋	2級	一の渡・坊中線	55.4	4.8	鋼橋	1976	2020	I	2025	経過観察	2030年以降	—
5	中小比内3号橋	その他	中小比内4号線	25.4	3.7	鋼橋	1968	2021	Ⅲ	2026	撤去	2025	22.0
6	焼毛戸1号橋	その他	湯の沢・素波里線	25.3	4.2	RC橋	1960	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
7	焼毛戸3号橋	その他	湯の沢・素波里線	24.7	4.1	RC橋	1960	2021	Ⅲ	2026	橋面防水、舗装打換、伸縮継手、排水施設、上部断面補修、上部表面保護、地覆打換、防護柵、下部断面補修、下部表面保護、沓座拡幅	2023	41.6
8	豊田橋	1級	藤琴・ニツ井線	24.3	5.7	鋼橋	1970	2021	I	2026	経過観察	2030年以降	—
9	松倉2号橋	2級	小比内線	24.1	3.7	PC橋	1964	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
10	焼毛戸2号橋	その他	湯の沢・素波里線	20.2	4.0	RC橋	1960	2021	Ⅲ	2026	舗装打換、橋面防水、伸縮継手、排水施設、上部断面補修、上部ひびわれ補修、上部表面保護、下部断面補修、下部表面保護、沓座拡幅	2024	38.4
11	狼之助沢橋	その他	猿ヶ瀬・十文字線	19.9	4.7	鋼橋	1964	2021	Ⅲ	2026	排水施設、伸縮継手、下部部分打換、下部表面保護	2027	80.0
12	出戸小比内橋	その他	相の図2号線	19.3	3.7	鋼橋	1972	2021	I	2026	経過観察	2030年以降	—
13	板清水2号橋	その他	寺屋布・大落線	16.1	2.5	鋼橋	1938	2021	Ⅲ	2026	上部補修	2028	20.0
14	奥小比内1号橋	その他	湯の沢・素波里線	16.1	4.0	RC橋	1959	2021	Ⅲ	2026	上部補修、地覆打換、防護柵取替、伸縮装置取替、橋面防水、舗装打換、排水管、下部補修、橋台基礎補修、沓座拡幅	2022	30.1
15	辰参橋	その他	奥小比内・東又線	15.5	4.6	鋼橋	1968	2021	Ⅲ	2026	桁塗装、床版断面補修、床版ひびわれ補修、床版表面保護、橋面防水、舗装打換、地覆断面補修、表面保護、防護柵、排水施設、下部断面補修、下部表面保護、支承金属溶射、伸縮装置取替、沓座拡幅	2021	22.5
16	東又橋	その他	奥小比内・東又線	15.1	4.8	鋼橋	1964	2021	I	2026	経過観察	2030年以降	—
17	大砂崩沢橋	その他	一の坂・大砂崩線	13.5	4.7	鋼橋	1969	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
18	猿ヶ瀬橋	その他	猿ヶ瀬線	13.5	4.7	鋼橋	1964	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
19	大川目3号橋	1級	出戸高石・川内沢線	10.0	4.2	RC橋	1966	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
20	大川目9号橋	その他	大川目・突込沢線	7.3	4.6	PC橋	1969	2020	Ⅲ	2025	舗装打換、橋面防水、主桁交換、地覆打換、伸縮継手、排水施設、防護柵、沓座拡幅	2028	21.8
21	横倉橋	その他	分作・横倉線	6.2	4.2	溝橋	1966	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
22	熊の岱2号橋	その他	熊の岱2号線	4.8	4.0	RC橋	1959	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
23	下横倉橋	その他	分作・横倉線	4.5	7.0	RC橋	1976	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
24	矢坂6号橋	その他	中岱・矢坂線	5.0	4.9	RC橋	1967	2020	I	2025	経過観察	2030年以降	—
25	矢坂5号橋	その他	矢坂6号線	4.1	4.8	RC橋	1966	2020	I	2025	経過観察	2030年以降	—
26	上谷地橋	その他	谷地3号線	4.1	3.9	RC橋	1960	2021	Ⅲ	—	撤去済	2024	—
27	上横倉橋	その他	分作・横倉線	3.3	6.0	RC橋	1967	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
28	巻端家橋	その他	巻端家3号線	2.5	4.6	PC橋	1972	2021	Ⅲ	2026	既設橋撤去、函渠、舗装、防護柵、護岸	2028	8.8

NO.	橋梁名	道路種別	路線名	橋長 (m)	幅員 (m)	橋種	架設 年次	最新 点検 年次	判定 区分	次回 点検 年次	対策内容	実施時期	対策費用 (百万円)
29	粕毛橋	1級	粕毛・米田線	88.5	9.2	PC橋	1988	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
30	真土橋	1級	粕毛・米田線	92.0	11.5	PC橋	1994	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
31	真名子橋	2級	真名子・向真名子線	40.7	4.4	PC橋	1964	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
32	突山橋	2級	滝の沢・田中線	52.5	9.2	PC橋	1989	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
33	立間沢1号橋	2級	小比内線	22.8	8.2	PC橋	1995	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
34	立間沢2号橋	2級	小比内線	23.8	8.2	PC橋	1996	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
35	中小比内1号橋	2級	小比内線	26.9	8.2	PC橋	1998	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
36	中小比内2号橋	2級	小比内線	21.0	8.2	PC橋	1998	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
37	松倉1号橋	2級	小比内線	25.5	5.2	鋼橋	1983	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
38	清五郎沢橋	その他	猿ヶ瀬・十文字線	22.6	4.7	鋼橋	1973	2021	Ⅱ	2026	桁当て板補強、塗装、橋台補修、橋台表面保護、伸縮装置取替	2028	13.4
39	金喰沢橋	その他	猿ヶ瀬・十文字線	28.5	4.7	鋼橋	1973	2021	Ⅱ	2026	桁当て板補強、塗装、橋台補修、橋台表面保護、伸縮装置取替	2027	16.3
40	上兵次郎沢橋	その他	猿ヶ瀬・十文字線	15.5	4.7	鋼橋	1965	2021	Ⅱ	2026	桁当て板補強、塗装、橋台補修、橋台表面保護、伸縮装置取替	2023	13.3
41	小滝橋	その他	猿ヶ瀬・十文字線	36.0	4.7	鋼橋	1966	2021	Ⅱ	2026	桁塗装、伸縮装置取替	2024	11.9
42	滝の沢橋	その他	猿ヶ瀬・十文字線	15.5	4.7	鋼橋	1966	2021	Ⅱ	2026	桁当て板補強、塗装、伸縮装置取替	2025	6.6
43	内川橋	その他	猿ヶ瀬・十文字線	48.1	4.6	鋼橋	1962	2021	Ⅱ	2026	伸縮装置取替、桁塗装、橋面防水、床版補修、橋台補修、橋台表面保護	2022	29.9
44	カタリ山橋	その他	黒石線	20.5	4.7	鋼橋	1972	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
45	上黒石橋	その他	黒石線	30.5	4.7	鋼橋	1972	2021	Ⅱ	2026	桁塗装、伸縮装置取替	2026	5.9
46	松の沢橋	その他	黒石線	41.0	4.8	鋼橋	1974	2021	Ⅱ	2026	桁当て板補強、塗装、橋台補修、橋台表面保護	2029	20.6
47	岳の沢橋	その他	黒石線	16.5	4.8	鋼橋	1974	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
48	大川目11号橋	1級	出戸高石・川内沢線	2.6	4.3	RC橋	1968	2020	Ⅱ	2025	今後11年以降に実施予定	2030年以降	—
49	大川目8号橋	1級	出戸高石・川内沢線	10.0	4.3	RC橋	1965	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
50	大川目7号橋	1級	出戸高石・川内沢線	11.4	4.2	PC橋	1970	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
51	大川目6号橋	1級	出戸高石・川内沢線	9.4	4.5	PC橋	1973	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
52	大川目5号橋	1級	出戸高石・川内沢線	10.0	4.2	RC橋	1966	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
53	大川目4号橋	1級	出戸高石・川内沢線	10.0	4.3	RC橋	1962	2020	Ⅱ	2020	経過観察	2030年以降	—
54	大川目2号橋	1級	出戸高石・川内沢線	10.1	4.2	RC橋	1966	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
55	大川目1号橋	1級	出戸高石・川内沢線	10.1	4.2	RC橋	1965	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
56	薄井沢1号橋	2級	矢坂・薄井沢線	8.5	6.7	RC橋	1965	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
57	町尻1号橋	2級	町尻・藤琴線	2.9	15.3	溝橋	1953	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
58	町尻2号橋	2級	町尻・藤琴線	2.0	5.1	溝橋	1971	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
59	藤琴1号橋	2級	大関添・藤琴線	3.9	6.3	RC橋	1971	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
60	寺屋布1号橋	2級	滝の沢・田中線	4.1	7.9	PC橋	1979	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
61	向真名子橋	2級	真名子・向真名子線	2.7	5.0	溝橋	1984	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
62	嘉平岱1号橋	その他	嘉平岱線	10.5	4.4	PC橋	1969	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
63	大川目10号橋	その他	大川目・突込沢線	4.3	4.5	RC橋	1959	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
64	藤琴2号橋	その他	川原3号線	2.3	3.0	RC橋	1968	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
65	藤琴3号橋	その他	川原4号線	3.0	3.5	RC橋	1960	2020	I	2025	経過観察	2030年以降	—
66	藤琴6号橋	その他	琴町2号線	3.0	3.0	RC橋	1968	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
67	藤琴7号橋	その他	琴町5号線	4.8	5.5	RC橋	1960	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—

NO.	橋梁名	道路種別	路線名	橋長 (m)	幅員 (m)	橋種	架設 年次	最新 点検 年次	判定 区分	次回 点検 年次	対策内容	実施時期	対策費用 (百万円)
68	高石沢橋	その他	高石沢1号線	8.4	4.3	PC橋	1962	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
69	湯の沢橋	その他	湯の沢3号線	8.4	6.8	PC橋	1982	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
70	寺屋布2号橋	その他	寺屋布1号線	4.9	4.5	RC橋	1979	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
71	寺屋布3号橋	その他	寺屋布2号線	4.4	4.3	RC橋	1979	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
72	板清水1号橋	その他	寺屋布・大落線	2.3	13.6	溝橋	1983	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
73	滝の沢1号橋	その他	滝の沢4号線	4.1	4.0	RC橋	1983	2020	Ⅰ	2025	経過観察	2030年以降	—
74	岩橋	その他	向真名子・金沢線	2.6	3.6	溝橋	1947	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
75	下一の坂橋	その他	一の坂線	2.6	3.6	溝橋	1951	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
76	矢坂3号橋	その他	矢坂5号線	2.2	6.5	RC橋	1969	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
77	矢坂4号橋	その他	矢坂6号線	3.7	6.3	RC橋	1956	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
78	ヒグリ沢橋	その他	猿ヶ瀬・十文字線	10.2	4.7	鋼橋	1964	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
79	孫惣岱橋	その他	湯の沢・素波里線	11.5	4.2	PC橋	1959	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
80	西又橋	その他	湯の沢・素波里線	15.3	2.6	鋼橋	1961	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
81	板清水3号橋	その他	板清水1号線	1.9	4.0	RC橋	1977	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
82	真土2号橋	1級	粕毛・米田線	14.8	9.2	PC橋	1990	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
83	真土3号橋	1級	粕毛・米田線	14.9	9.2	PC橋	1991	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
84	馬坂橋	2級	小比内線	63.0	8.2	PC橋	2012	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
85	鳶岩1号橋	2級	小比内線	19.0	3.7	鋼橋	1964	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
86	鳶岩2号橋	2級	小比内線	20.1	3.7	鋼橋	1967	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
87	一取沢橋	その他	猿ヶ瀬・十文字線	25.6	5.2	鋼橋	1997	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
88	沢尻橋	その他	寺沢3号線	21.9	6.2	PC橋	1984	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
89	中小比内4号橋	その他	中小比内4号線	23.8	5.2	PC橋	1984	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
90	黒石橋	その他	黒石線	30.5	5.2	鋼橋	1971	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
91	喜右工門岱1号橋	2級	谷地・鴨助岱線	4.1	5.5	RC橋	1979	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
92	熊の岱1号橋	2級	熊の岱・端家線	2.1	8.9	溝橋	1985	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
93	吉原橋	2級	米田・熊の岱線	5.4	7.5	PC橋	1957	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
94	蕨台橋	その他	大沢13号線	2.1	3.5	RC橋	1982	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
95	空ヶ沢橋	その他	空ヶ沢線	10.5	3.7	PC橋	1970	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
96	嘉平岱2号橋	その他	嘉平岱線	3.6	4.3	溝橋	1959	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
97	嘉平岱3号橋	その他	嘉平岱線	5.0	5.0	RC橋	1981	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
98	嘉平岱4号橋	その他	嘉平岱線	10.0	3.6	PC橋	1978	2021	Ⅱ	2026	経過観察	2030年以降	—
99	藤琴4号橋	その他	川反1号線	2.8	8.7	RC橋	1968	2020	Ⅰ	2025	経過観察	2030年以降	—
100	藤琴5号橋	その他	川反2号線	3.4	3.0	RC橋	1969	2020	Ⅱ	2025	経過観察	2030年以降	—
101	矢坂1号橋	その他	矢坂2号線	2.1	4.1	RC橋	1969	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
102	矢坂2号橋	その他	矢坂3号線	2.0	4.5	RC橋	1969	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
103	下冷水橋	その他	下冷水線	3.7	6.7	RC橋	1968	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
104	薄井沢2号橋	その他	薄井沢2号線	4.3	4.0	RC橋	1968	2021	Ⅱ	2021	経過観察	2030年以降	—
105	真土2号橋	その他	真土3号線	3.0	3.9	RC橋	1968	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
106	真土3号橋	その他	真土3号線	3.5	3.9	RC橋	1968	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
107	真土4号橋	その他	真土3号線	2.6	3.9	RC橋	1968	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—
108	下室岱橋	その他	萱沢室岱線	2.9	5.7	RC橋	1969	2021	Ⅰ	2026	経過観察	2030年以降	—

NO.	橋梁名	道路種別	路線名	橋長 (m)	幅員 (m)	橋種	架設 年次	最新 点検 年次	判定 区分	次回 点検 年次	対策内容	実施時期	対策費用 (百万円)
109	喜右工門岱2号橋	その他	下根城・喜右工門岱線	4.5	4.7	溝橋	1988	2021	I	2026	経過観察	2030年以降	—
110	喜右工門岱3号橋	その他	下根城・喜右工門岱線	2.6	4.5	RC橋	1969	2021	I	2026	経過観察	2030年以降	—
111	下根城2号橋	その他	下根城4号線	4.8	5.0	溝橋	1971	2020	I	2025	経過観察	2030年以降	—
112	中畑橋	その他	熊の岱・中畑線	4.8	5.0	溝橋	2018	2021	I	2026	経過観察	2030年以降	—
113	真土1号橋	1級	真土5号線	2.0	9.3	RC橋	1971	2021	I	2026	経過観察	2030年以降	—
114	釜の沢橋	その他	奥岩本線	2.0	3.4	溝橋	1965	2021	I	2026	経過観察	2030年以降	—
115	粕毛1号橋	その他	粕毛2号線	1.9	6.1	溝橋	1975	2021	I	2026	経過観察	2030年以降	—